

峰のひかり

発行人

社会福祉法人 七峰会

理事長 奥田 稔

〒036-8356

青森県弘前市大字下白銀町21-8

電話 (0172) 33-8861

FAX (0172) 33-8862



夕食作り当番の吉川ミツギさん(左)、山本キヨミさん(右)

グループホーム『アップル』は、90歳以上が4人、平均年齢が87・1歳の9人が生活しています。

ある日の午後、ホールでのひと時。この日のおやつは、手作りサンド（パンにタルタルソースをはさんだ物）です。1人は職員と一緒に準備をしてみました。もう1人は、裁縫をしています。2人の方は、豆の仕分け作業をして（個別のレクリエーション）残りの方はテレビを見たり、お風呂の順番待ちをしていました。何ともゆったりした

特別養護老人ホーム サンアップルグループ

ある日の
グループホーム『アップル』(高齢者)

時間が流れています。おやつが出来たようです。調理台に9人分の皿が並びました。それが合図のように、皆さんに動きがありました。自分の道具を片付け、次に、テーブルを拭く人、おやつを運ぶ人、お茶を用意する人、どうやら皆さんには、それぞれの役割があるようです。また、驚いたことに、この一連の動きに職員の声掛けがありません。役割が定着したので、職員の指示は必要がなくなつたそうです。

認知症の方は、1人で一連の流れをこなすことは得意ではありません。鍋を焦がしたり、魚を真っ黒にしたり、これは同時進行の失敗であり、ひとつ一つの動作が出来なくなつたわけではありません。

ところが、ご自宅ではそうはいきません。家族は仕事のため、日中の独居高齢者は少なくないのですが、そのため、鍋を焦がした↓火の不始末が心配↓ガスを使うな、というエピソードはとも多いのです。難しいのですが、出来る事を取り上げてしまっているのです。誰かが全体に目を配りつつ、一連の流れを按配することが出来れば、その先は出来ることが多いのです。

グループホーム『アップル』では、それぞれの出来る事を取り戻し、得意分野を生かしながら、自立した生活、そして穏やかな生活を送ることを支援しています。

障害者支援施設 山郷館くろいし

災害に備えて

『山郷館くろいし』では、防災について様々な情報を入手し、自分自身で考える機会をもつことを目的とした防災教室を行いました。

今回の防災教室では①様々な防災用品の情報を集める②非常用食品の試食③生活に必要な照明の確保の3点をポイントにして体験学習を行いました。

どんな防災用品があるのか情報を集めるために、利用者さんを代表して2名がホームセンターや薬局、スーパーにでかけました。各店内では、さまざまな防災用品が売られていましたが、その中でも特に、非常時の食べ物が気になったそうです。

「飽きないように、カップ麺は数種類準備したほうがいい」、「調味料が足りないように缶詰は味噌煮がいい」など非常時だからこそその意見が出ていました。そして、試食の際食事の準備は、電気や水が止まっていることを想定し、カセットコンロを使って、ペットボトルの水を沸かすところから始めました。震災後に準備した災害時のレトルトカレーの味は大変好評で「非常食にしては大

変おいしかった」という意見が多く、非常用食品の品質の良さに感心しました。また、震災時を振り返ると、ビタミン不足になっていたという話も話題にして、日ごろ食す機会のないドライフルーツも試食してみました。

夕食後には各ユニットに準備した非常用の電灯と、利用者さんが震災後に各自で準備したランタンの明るさだけで30分過ごしてみました。試してみると、想像以上に明るく、生活に支障がないことが確認できて安心できました。

体験学習を終えてからも、「災害は突然おきるものだから、次は事前に告知をしないで訓練してみたいんじゃないか」という積極的な意見が出るなど、とても大きな収穫でした。



拓心館グループ

『はあと』が
生まれ変わります

平成21年6月に産声をあげた『児童デイサービスはあと』は、早いもので今年6月をもって開設5年目を迎えます。この節目の年に、今まで培った専門性を活かし、より多くのお子様・ご家族様のお役に立てるよう、『児童発達支援センターはあと』に移行することとなりました。

この児童発達支援センターとは、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などを行う事業で、具体的には次の通りです。

- ①児童発達支援センター
未就学のお子様を対象とした事業で午前10時～午後3時までご利用できます。加えてご希望により給食サービス（昼食）もご提供いたします。
- ②放課後等デイサービス
小学1年生からの児童さんを対象とした事業です（事業内容はこれまでと同様になります）。
- ③保育所等訪問支援事業
お子様が通う保育園や幼稚園等を訪問し、そこでお子様が安定して活動できるように、専門性を持って保育園等の先生方と相談を行う事業です。

今後は、より一層お子様一人ひとりの成長に合わせた療育と将来を見据えた知識・技術の獲得を応援すると共に、ご家族様の良き相談相手となるよう努めてまいります。見学、ご利用相談、ご意見・ご要望等ございましたら、お気軽にご連絡ください。



☆お問い合わせ☆

児童発達支援センターはあと

■住所

青森県弘前市大字熊嶋

字亀田183の2

■電話

0172・82・5780

障害者支援施設 拓光園グループ

新生活楽しんでいきます

平成24年12月に、新しく完成した賀田住宅への引越しが行われました。賀田住宅は、A・B棟の2つの棟に6名ずつ計12名の女性利用者さんが入居し、新しい生活を始めました。

月曜日から土曜日の日中は、拓光園の生活介護事業所へ通い作業を行っています。作業では、さき織り、ビーズのれん作り等を行っています。日曜日は、自宅で編み物をしたり、テレビや音楽を聴いたりなどし、ゆったりと過ごしています。少しずつ生活リズムが整い、メリハリのある生活を送ることができるようになってきていると思います。

初めて地域生活を送ることになった利用者さんは、当初は戸惑っている様子も見られましたが、以前から地域生活を送っている利用者さんが教えてあげるなどし、お互いに協力して日々の生活を送っています。園にいる時はあまり行うことがなかった台所仕事等の家事も、世話人さんに教えてもらいながら積極的に行ってくれています。

最近では、新しい生活やメンバーにもだいぶ慣れてきた様子で、冗談

を言い合うなど笑顔が多く見られるようになってきています。時には、

意見の食い違いでメンバー同士衝突することもありますが、世話人さんや職員が間に入りお互いの意見を聞く話し合いの場を設けています。

現在は、月1回余暇外出に出掛けており、個々に好きな物を購入するなどし、皆さん楽しみにしている様子です。今後は、地域交流も積極的に図っていきたくと考えており、地域で行われる様々なイベントにも参加していきたいと思っています。

これからも、利用者さんが安心して地域生活を送ることができるよう職員一同努めていきたいと思っています。



障害者支援施設 山郷館グループ
山郷館地域活動支援センター「くれよん」
余暇活動の紹介

『くれよん』では、利用者の皆さんの余暇支援として料理教室・フラーアレンジメント教室・書道教室を実施しています。これらの活動は、いずれも外部講師に来ていただき、月1回から2回活動しています。今回はこの活動の中から書道教室を紹介いたします。毎回、講師の大西右峰先生に指導して頂き、利用者の皆さんに上手に書くようとするのではなく、楽しみながら自分らしく書くよう指導してくれます。現在8名の利用者が参加し、各々好きなものを書いていきます。毎年、日頃の練習成果を試



高田久美子さん

すため日本肢体不自由児協会主催の「肢体不自由児・者の美術展」に書を出展してきました。

そして今回「第31回肢体不自由児・者の美術展」に高田久美子さんと藤田さやかさんの2名が見事入賞しました。高田さんは「日進」を出展し、NTTデータジュトロニクス国際賞を受賞。藤田さんは、「喜怒哀楽」を出展し、努力賞を受賞しました。これまでの練習成果が発揮でき利用者、スタッフの励みになりました。

地域活動支援センター「くれよん」では、これからもいろいろな活動を提供し、障がいを持つ方の地域生活や活動の充実を目指していきます。



藤田さやかさん

障害者支援施設 旭光園

自治会活動 〜 親睦会紹介 〜

『旭光園』には、利用されている方63名の自治会があります。品川敷自治会会長はじめ役員7名が中心となり活動しています。

毎月会費を集め、主催行事や会員相互の慶弔見舞金、共同使用の日用品の購入、また施設に対する要望の取りまとめなども行っています。



今年行われた、自治会主催のゲーム大会を紹介します。

毎年2月に行っている大会では、麻雀・トランプ・将棋・花札・オセロなど熱戦を繰り広げていますが、今回は趣向を変え、利用者の皆

さんが4チームに分かれて、宝探しゲームを行いました。宝にたどり着くまでに、難問を解いていくゲームです。

ルパン4世からの問題やヒントを得ながら、宝の在り処にたどり着くまで、各チーム目を輝かせて解いていきました。宝物の豪華賞品を手に入れたときには、もう疲れはててい



ましたが、皆さん大満足だったようです。自治会会長からは「会費のみで運営しているため、台所も火の車ですが、今後も自治会で話し合っただんが、今後も自治会で話していきましょう。」と話してくれました。

すまじつと宣伝!!

※主な取り扱い製品※

- 納豆 国内、県内産大豆を使用した 猿賀納豆「福・福」
- お米 地元産つがるロマン100% 精米したてのお米
- 割り箸 名入れ箸袋、完封箸
- ラベル、シール全般 デザイン・作成します
- ビニール袋 ゴミ袋等の各種袋

ご注文をお待ちしています。

TEL 0172-575155
FAX 0172-575156

介護事業

山郷館居宅介護支援センター ☎2941
隣 サンアップル居宅介護支援センター ☎2131

高齢者介護事業

特別養護老人ホーム
サンアップルホーム ☎2111
サンアップル短期入所生活介護センター ☎1166
サンアップルホームデイサービスセンター ☎3758
サンアップルヘルパーセンター ☎2013
認知症グループホームアップル ☎2778
認知症デイサービスセンターじよい ☎2013
サポートセンターわかば ☎1176
認知症グループホームわかば ☎1166
デイサービスセンターわかば ☎2131
サンアップル在宅介護支援センター ☎2131
住宅型有料老人ホームわかば ☎1888

障害者支援事業

主に知的
旭光園 ☎2331
旭光園生活介護事業所(旭光園) ☎2331
旭光園短期入所支援センター ☎4520
旭光園障害児デイサービスセンター ☎4520
旭光園日中一時支援事業所 ☎4520
旭光園共同生活介護事業所(2ヶ所) ☎4520
旭光園相談支援事業所 ☎4520

主に身体
山郷館 ☎2211
山郷館身体障害者(児)短期入所事業所 ☎2211
山郷館 デイサービスセンター ☎2211
山郷館 デイサービスセンター ☎2211
山郷館 地域生活支援センター(4ヶ所) ☎2211
山郷館 訪問介護センター ☎2211
山郷館 バス利用支援センター ☎3070
山郷館 ライフスキルセンター(1ヶ所) ☎3070
山郷館 ライフスキルセンター(共同生活) ☎3070
旭光園 ☎3070
旭光園身体障害者短期入所事業所 ☎3070
福祉ホームさわら

障害者支援施設 旭光園 ☎5155
施設入所支援・生活介護・就労継続支援B型 ☎5155
旭光園身体障害者短期入所事業所 ☎5155

総合支援事業

高松市
高松市就業・生活支援センター ☎4524
津軽障害者就業・生活支援センター ☎2400
弘前市障害者就業・生活支援センター ☎2100
弘前市障害者就業・生活支援センター ☎2100
山郷館総合支援センター(黒石) ☎5018